

うえだ UEDA

市議会だより

平成22年1月1日号 No.20



朝日を浴びた富士山（真田傍陽ふるさと公園から）



改革と継続のバランス保ち前進を！

議長 丸山 正明
副議長 外山 恒

新年おめでとうございます。市民の皆様方一人ひとりにとって幸多き年となることを願い、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昨年は、衆議院議員総選挙の結果9月に鳩山政権が発足し、歴史的な転換を迎えた年でありました。また、オバマ政権が発足し、その後「核なき世界」の提唱により、ノーベル平和賞を受賞するなど歴史は確実に動き出しています。いつの時代も変革は必要である一方、継続性もまた大切であり、政治はそのバランスをとりながら進める必要があります。

そのような観点で振り返ってみると上田市の合併は、4市町村に亘って大きな転換でありました。合併4地域は、歴史・産業構造・文化など異なりますが、こうした違いをそれぞれの特色と受けとめ、これを活かしながら一体感の醸成も図っていくことが求められており、まさにバランスが大切であります。

「地域主権」改革の断行を、私たちはただ期待しているだけでなく、自らその受け皿となる地域づくりをしなければなりません。

これから議会は、市長から提案された議案を審議し市の方向性を決定していくことはもとより、市民の皆様の声を受けとめ、市政に反映させることのできる力量が求められます。

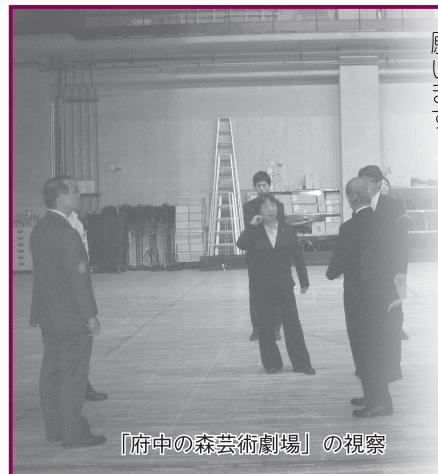
今年は選挙の年であります。選挙で選出されたその重さを議員一人ひとりが深く認識し、議員の個性と合議体としての議会の力を最大限発揮できるよう努力してまいりますので、本年もどうぞご協力をおよろしくお願ひします。

これまでの議会の各委員会の活動概要を次のページから紹介します。

2010.1.1 うえだ市議会だより [4]

交流・文化施設特別委員会

- ◎ 西沢 逸郎
- 深井 武文
- 池上喜美子
- 大井 一郎
- 竹花 静江
- 田中 武
- 渡辺 正博
- 大井戸莊平
- 外山 恒



市の重要な課題である交流・文化施設については、昨年12月に整備計画が策定され、今後の動向が注目されるところです。

平成20年12月定例会において、当委員会は、「市民合意を得ながら市民に必要な事業内容となるよう精査するとともに、事業費を極力抑制すること」を主な内容として提言を行いました。この提言が尊重されることにより、交流・文化施設が市民に親しまれ、大いに活用され、後世の人々の役に立つことを委員一同、切に願っています。

安心で充実した医療を求めてー

当委員会は、長野病院及び上田市産院における医師確保と中核的医療機関の充実強化を目的として、調査研究しています。昨年の2月に栃木県佐野市民病院と群馬県高崎病院で医師招聘の視察をしてまいりました。

その後の3月定例会では、一年間の調査結果として「上田地域の医療の充実を求める意見書」を提案し、国、県、広域連合と面談し要望を行いました。後期活動は、シンポジウムへの参加、上田医師会との懇談を行い、それらの調査を含め3月定例会に向かって報告書の作成を進めています。

- ◎ 内堀 勝年
- 小林三喜雄
- 小林 隆利
- 井沢 信章
- 堀 善三郎
- 南波 清吾
- 足立 誠
- 藤原 信一
- 金井 忠一

地域中核病院特別委員会



議会傍聴にお越しください

次回の定例会

2月1日(月)から

受付は、本庁舎5階の議会事務局で行っています。傍聴券を受け取るだけで、手続きは簡単です。



平成22年1月1日発行
発行：上田市議会
〒386-8601 上田市大手一丁目11番16号
TEL. 0268(22)0452 FAX.0268(23)5136
E-mail : gikai@city.ueda.nagano.jp
URL : http://www.city.ueda.nagano.jp
編集：議会広報特別委員会
委員長：大井一郎
副委員長：大井澤章哉
副委員長：外山恒
委員：古池順喜
印 刷：田口印刷株式会社

2010年、節目の年がスタートしました。一昨年秋からの経済危機による生活不安は深刻さをまっています。私も参加する「反貧困、くらしと雇用を守る上小ネットワーク」では、昨年3月からハローワーク前で相談会を続けてきました。年越し派遣村も行政と協力して取り組みました。こんな時だからこそ行政の役割は大きく、お金の使い方が問われます。市政をチェックする議員の責任の重さを感じます。

新年号では昨年に続き、常任委員会・特別委員会の活動報告を掲載しました。今年3月には市長・市議会議員選挙が予定されています。議員任期もあと少しとなり、各委員会はまとめの段階に入ります。

編集後記

議会運営委員会

—より親しまれる
議会に向けて—

議員と市長とが向かい合って質問と答弁を行う、いわゆる対面式一般質問のための議場改修を行いました。また、試行として、質問回数に制限を設けず時間制限を45分とすることで、限られた時間の中で密度の濃い議論を目指す取り組みも行っています。一問一答式に近づいた質問と答弁のやり取りは、大変わかりやすく、議会を身近に感じていただけることと思います。

そして、新たに設けられた質問席から繰り広げられる丁々発止の議論は必ずや上田市の発展的成長に寄与するものと考えています。

会津若松市の議会運営を学ぶ

◎ 南波 清吾
○ 滝沢 小林 清水 尾島 下村 渡辺 安藤 足立 藤原

総務文教委員会

—入札・契約制度の改革—

当委員会は、今年度も上田市が抱えるさまざまな課題に取り組んでまいりました。

今年度の行政視察では昨今、どこの自治体でも問題となっている入札制度について、東京都立川市の先進事例を勉強してまいりました。入札・契約については以前から多くの委員が関心を持ち上田市でも今年度から入札制度改革を行いました。市民の視点から透明性が確保され、さらには競争性と品質の確保が図られるものとなるよう今後も総務文教委員会として取り組んでまいります。

◎ 下村 栄
○ 小林 隆利
井沢 信章
三井 和哉
下村 聖
西沢 逸郎
堀 善三郎
外山 恽
久保田由夫

議会広報特別委員会

—市議会だよりを刷新!—

昨年は市議会だよりの表紙、レイアウトなどを刷新しました。また、編集期間も短縮させ、より早く市民の皆様に市議会だよりをお届けできるようになりました。

その他にも新しい取り組みとして、昨年の8月1日号で、上田市議会の議員定数のあり方に対する市民の皆様からの「意見募集」を掲載し、また11月1日号でははじめて政務調査費の收支報告も掲載しました。

今後もより一層、市民の皆様に市議会だよりを読んでいただけるような取り組みを行ってまいります。

市議会だよりの編集会議

◎ 大井 一郎
○ 井沢 信章
三井 和哉
古市 古市 池上喜美子

産業水道委員会

—緊急雇用対策—

一昨年の秋から始まった世界的経済危機は未だに危機的状況が続いているが、特に中小企業が多い上田市の経済・雇用情勢は先が見えない状況です。市は雇用促進室を設置し、中小企業の経営維持安定に向け、雇用創出奨励補助金や資金繰り支援などの対策を講じています。また、農林関係では、緊急雇用創出事業を活用した事業が効果を挙げています。

しかし、経済全体に波及するには事業規模・財源の課題もあり、厳しい状況です。今後、新政権下の国の施策にも注視し、地域経済・雇用の早期安定と地域産業支援に全力で取り組んでまいります。

◎ 児玉 将男
○ 清水 俊治
内堀 勝年
小林三喜雄
竹花 静江
渡辺 正博
滝沢 清茂
武藤 弘

行政改革特別委員会

—調査研究結果を
それぞれ提言—

「団体補助金のあり方」と「学校給食業務」についての2点にしぼり、他の視察も行ないながら行政改革の視点で調査研究をしてきました。

その結果、「団体補助金のあり方」については、昨年6月定例会で、「交付基準を明確に定め、市民に公表していくこと」と「補助金の見直しを継続的に行なうため、(仮)補助金審査委員会を設置すること」を柱とした提言を行いました。

また、「学校給食業務」については、「上田市の学校給食の理念を定める」と「委託化できる業務を検証し進めること」を12月定例会の特別委員会で、教育委員会へ提言を行いました。

安曇野市中部学校給食センターの視察

◎ 南雲 典子
○ 三井 孝雄
土屋 圭治
下村 勝栄
清水 尾島 下村 土屋 陽一
久保田由夫

厚生委員会

—地域福祉の充実に向けて—

本年度は、5月に行政視察を行いました。福岡県宗像市では発達支援センター、宮崎県日向市では初期救急診療所、鎌倉市では産科医療の民と官の連携について、先進地の取り組みを視察しました。医療の安心安全は、市民にとって最も重要な関心事です。また、今春にオープンする総合保健センターでは発達相談の支援機能も充実されます。その他にも、市内の保育園、高齢者施設、障害者施設等を視察し、現場の声、課題をお聞きしました。

今後とも、市民の声が反映できるようしっかりと取り組んでまいります。

◎ 足立 誠
○ 池上喜美子
安藤 友博
大井戸莊平
南波 清吾
土屋 阳一
藤原 信忠
金井 忠一

分権型地方自治特別委員会

—市民協働のまちづくり—

分権型地方自治のあり方及び自治基準について調査研究をしてまいりました。当委員会は、地域センター、地域協議会、地域予算のあり方について、また、自治基本条例について、延べ12回に及ぶ委員会のほか、関係団体との懇談や視察により議論を深めてまいりました。

現在、市民参加の検討委員会において、研究中の自治基本条例についても、市民の手づくりによる条例制定とすることが本旨と考えていますので、策定作業には十分に時間をかけていただきたいと思います。

調査研究結果は提言も含め、昨年12月定例会で報告しました。

武石地域自治センターの状況を調査

◎ 竹花 静江
○ 古市 順子
小林 隆利
小林三喜雄
滝沢 清茂
安藤 友博
成田 守夫
児玉 将男
武藤 弘

環境建設委員会

—廃棄物の減量と
再利用をめざして—

当委員会は、事業系一般廃棄物の減量化を推進するために条例を制定している佐賀市及び広域的に環境保全に取り組んでいる福岡県大牟田市で研修・視察をしてまいりました。

大牟田市エコタウン内にあるリサイクル発電所は福岡、熊本両県の19市町村で製造されたRDF(ごみをチップ化した固形燃料)を焼却し、その熱で発電を行う、最も理想と思える施設でした。大牟田市の地理的利便性と臨海部低未利用地の活用等の条件がこれを可能にさせています。羨望の眼差しで研修を終えました。上田地域のごみ処理及び環境問題の取り組みに役立てていきます。

◎ 土屋 孝雄
○ 田中 武子
古市 一郎
大井 勝
尾島 武文
深井 守夫
成田 典子
南雲